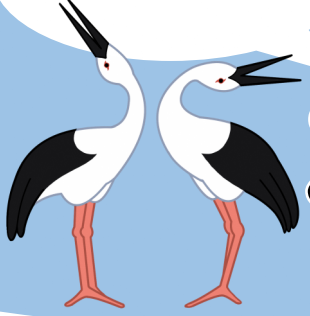


コウノトリ



毎週月曜日更新

カタカタ通信

第189号

「最後の改築であれ」

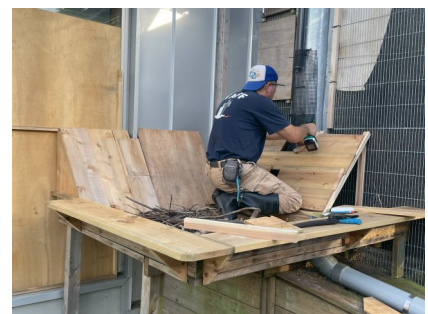
2025年8月11日

巣台の改築、それは暑さと時間との戦いでもありました。

朝は巣台が日陰になっていて、改築作業に入る飼育係は助かります。ですが、コウノトリたちは作業をしている場所からは距離をとるので、日向で待っていることになります。コウノトリの日陰を長時間奪ってしまうのはやめようと、朝の時間は避けることにしました。

夕方になると、今度は巣台から離れた位置が日陰になります。一方、巣台側には西日が差し込み、作業を始めるとすぐに汗びっしょりになりました。

巣台の接している壁には凹凸があります。巣台が狭くならないよう、できるだけ壁に合わせて少しずつ組み立てていきました。凹凸があるため、場所によって必要な長さもバラバラ。板を合わせて切る、また合わせて切る……の繰り返しでした。コウノトリができるだけいつものペースで過ごせるよう、切る作業はケージの外で行ったので、なかなか時間がかかりました。



日陰になっても暑さは変わらず……試行錯誤して作成中



斜めの壁完成！



花がよく乗っています

そんな苦勞をして出来上がったのがこちらです。

花（♀）は毎日繰り返し巣台に乗っています。そのまま羽繕いもしているの、気に入ってくれたのかな？と思っています。空（♂）は、花ほどではありませんが、時々乗っているようです。



夜は少し涼しいかな

最近の空と花の様子です。夜間は池の近くや風の通りの良いところで休んでいます。時々何かが来たのか、そっと離れたりキョロキョロしたりしています。

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター
飼育担当：しみじい